

本市と姉妹都市締結 30 周年

「思いやり」が つなぐ 姉妹都市交流



皆さま、こんにちは。大分県九重町が佐世保市と姉妹都市を締結してから 30 周年となります。

佐世保市民の皆さんの温かい思いやりのおかげで、今日まで交流を

続けることができたものと思っています。

また、「令和 2 年 7 月豪雨」によって本町が被災した折にも心温まるご支援をいただきましたことに、厚く感謝申し上げますとともに、皆さんとの「つながり」や「ふれあい」の大切さを改めて感じています。

本町では、佐世保市で 10 月に行われる「かっちえてアイラブフェア」や冬恒例の「きらきらフェスティバル」などに農産物を持参して参加しています。また、佐世保市からも 10 月に行っている「九重ふるさと祭り」に参加していただくなど、相互交流が続いています。

この姉妹都市締結 30 周年を契機に、佐世保市の皆さんとの交流をより一層深めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

九重町長 日野 康志

九重町の概要



ちようじやばる
くじゅう連山を望む長者原

九重町は町の大部分が阿蘇くじゅう国立公園等に指定された自然景観に恵まれた町で、「九重“夢”温泉群」や日本一大きな人道大吊橋「九重“夢”大吊橋」などの人気の観光資源、新鮮な高原野菜や豊後牛をはじめとする特産品も充実しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響によって県外との往来が難しい状況が続いていますが、収束後は豊富な温泉群、緑と水、草原と山などの美しい自然に恵まれた九重町を訪れてみてください。

国際政策課 ☎ 24-1111

シリーズ 西九州食財 12

オイスターニンニク



オイスターニンニクは、山のミネラルと肥料の九十九島かきの殻による海のミネラルを豊富に含んだ最適な土壌環境で育まれたジャンボニンニクです。普通のニンニクの 8 倍の大きさがあり、適度な風味を持ち、一般のニンニクよりも匂いが少ないことが特長です。また、肥料として九十九島かきの殻を活用することで、海と山のミネラルが融合した最適な土壌環境を作り出し、資源循環も図っています。

暑さにも寒さにも弱い作物ですが、温暖な佐世保市の気候はニンニクの栽培に適していると言われており、市内では主に早岐地区で栽培されています。6 月初旬に収穫し、7 月から出荷が始まりますが、冷暗所等で適切に管理しているため、1 年を通しておいしくいただくことができ、特に 12 月頃までがよりおいしくいただけます。

オイスターニンニクはニンニクチップやしょうゆ煮、天ぷら、餃子のタネなどにお勧めで、ニンニクの芽は味が濃く、臭みは少なく、天ぷらや炒めものなどに幅広く活用できます。また、加工品である熟成させた「黒ニンニク」は、黒ニンニク特有の抗がん作用や抗酸化作用をもたらすと言われている成分を含み、熟成させることによって、コレステロール値低下や滋養強壮などの効果があるとも言われています。

この機会に佐世保にしかないオイスターニンニクをどうぞお召し上がりください。

購入可能場所 わくわくふれあい市 ☎ 38-4386

☎ ジャンボニンニク研究会 (田崎さん)

☎ 090-9586-3686

人の動き (6 月 1 日 現在)

- 総人口 241,517 人 (前月比 - 106 人)
男性 114,633 人 (- 61 人)、女性 126,884 人 (- 45 人)
- 世帯数 104,907 世帯 (前月比 + 57 世帯)
- 5 月中の動き
転入 472 人、転出 451 人、出生 138 人、死亡 265 人

ボランティアの皆さまによる「ワクチン接種予約支援サービス」



市民の皆さまには、新型コロナウイルス感染拡大の最大要因である「飛沫感染」や「接触感染」を防止するため、常日頃から基本的な感染症対策としてマスクの着用や手指の消毒、室内の換気、三密の回避などを心掛けていただいていることに、心から感謝いたします。

また、医師や看護師をはじめとする医療従事者の皆さまには、感染症患者の皆さんに寄り添った治療・看護に従事していただいております。さらには、5 月から開始しているワクチン接種にも通常の診療時間を調整した中で、個別接種や休日・休診日の集団接種に多大なるご協力をいただいております。改めまして感謝の意を表しますとともに、おねぎらいを申し上げる次第であります。

さて、ワクチン接種の予約につきましては、当初、コールセンターへの電話がつながりにくく、予約サイトもアクセスが集中して予約が取りにくくなっていったことから、多くの方にご迷惑をお掛けしていました。

しかし、その後、コールセンターに電話する時間帯を調整していただいたり、予約サイトにアクセスしやすい夜の時間帯に利用していただいたりするなど、市民の皆さまに

寛容な精神でご協力をいただいているおかげで、当初のような混乱は一定収まってきています。

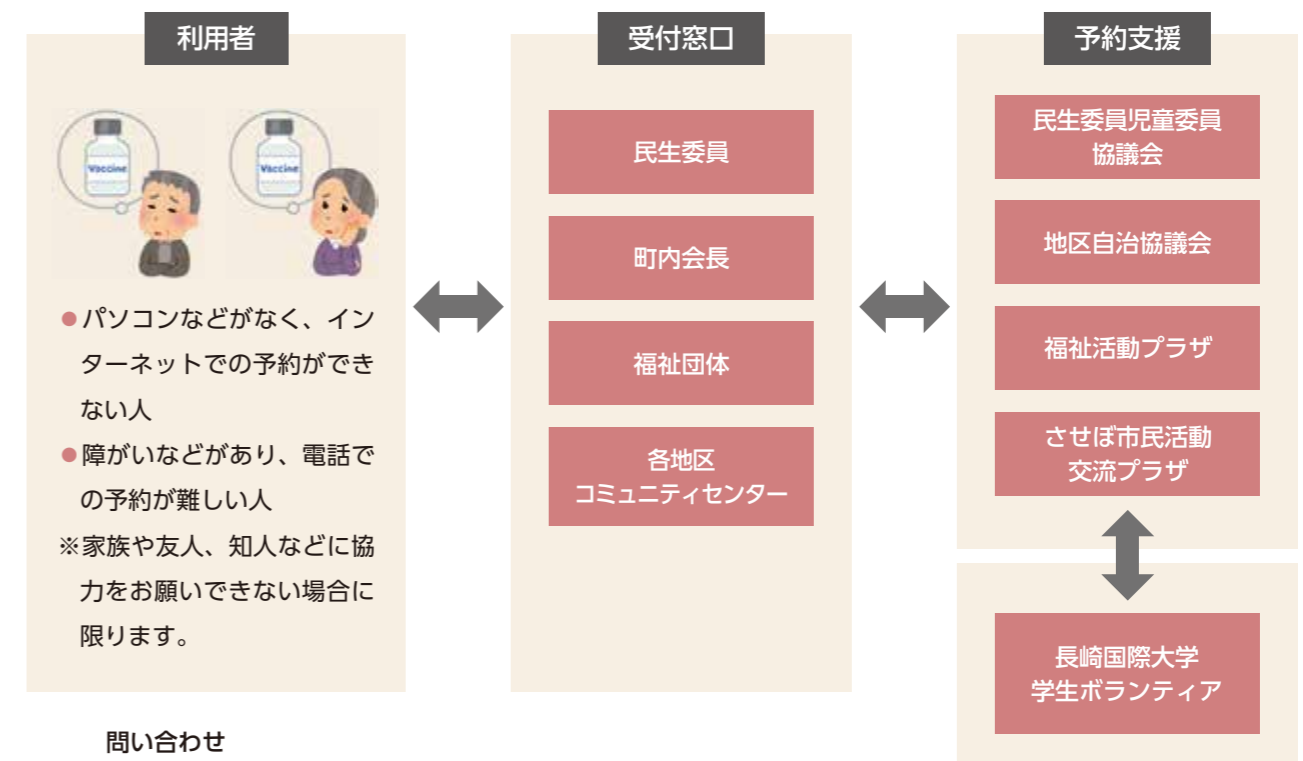
また、インターネットでの予約ができない人が、家族や友人、知人などの協力によって予約できた事例も大変多いと伺っており、お互い様の精神でご協力をいただいた皆さまに厚くお礼を申し上げたいと思います。

そのような中、市民の皆さまから予約を支援する制度のご提案をいただき、市としても予約を代行するサービスを検討していましたが、このたび 6 月から「ワクチン接種予約支援サービス」が、民生委員児童委員協議会や地区自治協議会、福祉活動プラザ、地区コミュニティセンター、長崎国際大学の学生ボランティアの皆さまのご協力によって、ボランティア活動として開始されることになりました。

この活動は、あくまでもボランティアという善意の活動であり、支援依頼が集中すると対応できなくなる場合があります。家族や友人、知人などに協力をお願いできない人に限った支援となりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

「ワクチン接種予約支援サービス」の利用の流れ



問い合わせ

- 民生委員児童委員協議会連合会事務局 ☎ 59-6115
- 各地区コミュニティセンター (各地区自治協議会事務局)
- させぼ市民活動交流プラザ ☎ 23-6070 など